

【工夫のポイント】

- 大区画化、汎用化により、営農効率の良いほ場が整備され、**担い手への農地集積・集約化を促進**。
- 事業を契機に、担い手となる**農事組合法人**を設立。(平成25年)
- 米や小麦といった土地利用型作物と併せて、**たまねぎやキャベツなどの高収益作物を導入し、多様な作物生産による収益性の向上を実現**。

【取組地域の概要】

- 位置 ほうふし
山口県防府市

山口県



しもつりょう
下津令地区

- 主要作物
・水稻、小麦、たまねぎ、キャベツ 等
- 主な支援施策
・農業競争力強化農地整備事業(H23～R3)
・多面的機能支払交付金(H19～)

基盤

ほ場整備による営農の効率化

区画整理による基盤の嵩上げ、用排水路の分離、地下水位制御システムの導入、用水のパイプライン化等により、**ほ場の排水性の改良や農作業の効率化**が図られ、法人による**畑作物の生産が拡大**。



高収益作物栽培(キャベツ)



地下水位制御システム

基盤整備
(H23年～R3年)

【整備前】

不整形で狭小な農地であり、地区北側の河川は水位が高く、**洪水時の排水が困難**になることから、**水稻主体の個別営農**。



降雨時湛水状況(整備前)



整備前全景

生産現場

農事組合法人による営農体系の確立

- 地域の豊かな農業を守っていくため「**農事組合法人下津領**」を設立。
- 水稻主体の営農から、**小麦、たまねぎ、キャベツ等の作物の栽培へ転換**。
- キャベツの生産は、**女性理事**が担っており、調整作業等では地域へ貢献するために**地元の方を雇用**。



タマネギ収穫



キャベツの出荷調整

地域の取組

集落営農法人連合体の設立

- 集落営農法人の構成員の高齢化等に対応し、地域農業の持続的発展を目指すため、防府市大道地域の3集落営農法人と認定農業者が共同出資して**株式会社(集落営農法人連合体)**を設立。
- 連合体では、ドローンを活用した農薬散布や資材の共同購入、機械共同利用による**各法人のコスト縮減**や、**人材育成へ取り組む**。



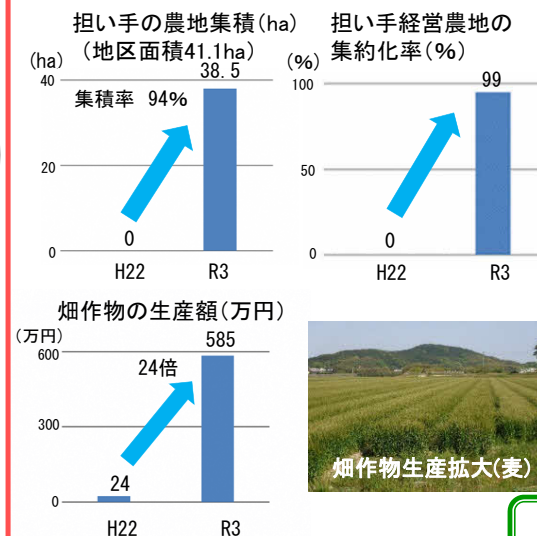
ドローンによる農薬散布



共同利用機械(麦播種)

区画整理による農地集積と畑作物の生産拡大

- ほ場整備と、それを契機に設立された集落営農法人による営農を進めることで、**担い手への農地集積・集約化の促進**や**畑作物の生産額向上**が図られた。



畑作物生産拡大(麦)